

〝女三人寄れば〟

シリーズ構成　鳥 海 尽 三

昭和40年から51年の11年間、竜の子プロダクションに在籍し、 企画・原作・脚本を担当 してきたが、この 「超時空騎団 サザンクロス」 は7年ぶりの竜の子作品である。 数年ほどの間、全くＳＦ ・メカ物から退いていただけに、かなり内容の変貌が目につく。 どこのアニメ・プロの作品もターゲットが昇格し、

技術的にも高度化されている。今や、アニメ

の年代層を問うのはナンセンスだ。

縁あって、 世評高い超時空物をやれるのは

光栄だが、 正直なところ、不勉強さは免れな

い。だが、 ジャンヌ・ダルクの女主人公を、

馬ならぬロボットに搭乗させて暴れ廻る企画

は、ちょっと食指を動かされた。 この作品の

特異性は、異星人ゾルが3位1体、 つまり、

3人で1個性を形成する面白さにある。 複雑

な現代社会の中で、個人は情報、判断、行動

の3位1体が重要となる。 厶ジカ、ムゼル、

厶ジェと云うゾル3人娘がその3分化→の表

象であるか、これに匹敵するのが、 主役ジャンヌと、　ラーナ、マリーの地球人3人であろう。 文字通り、女3人集まればなんとかやら

である。 これに個性豊かな若い男たちが絡むのだから。 その収拾がつくかつかないか、 と

にかく、悪戦苦闘で脚本を執筆している。 そ

れも、鞭打って青春を甦らせながら……。